

関常幸 議会報告

第46号
2018.7

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



猛暑お見舞い申しあげます

西日本豪雨で亡くなられた方のご冥福と、被災地の一日でも早い復旧・復興をお祈りいたします。

猛暑が続く日本列島、南魚沼市でも7月に熱中症で病院に搬送された人は7/24現在で58人。昨年は28人。0歳からすべての年代で発生しており、60歳以上が6割を占めている。ご高齢の方が冷房の効いていない部屋で亡くなりました。

そんな中、7月22日大相撲名古屋場所千秋楽。豊山、御嶽海戦は汗握る熱戦、豊山の勝利に猛暑を忘れさせた。

7月23日は、41.1度C国内過去最高（埼玉県熊谷市）を記録する。気象庁は、「命の危険がある暑さ、災害と認識している」と表明し、この猛暑は8月上旬までは続き、その後少し収まるが、8月下旬から猛暑が再来すると言う。

7月24日、第100回記念高校野球新潟県決勝が行われた。白球を追いかける選手、スタンドで応援する生徒、暑さを忘れさせる熱戦だった。

学校現場でも熱中症による事故が起きている！！

今年だけの暑さなら我慢できるが、児童生徒の健康・安全を守るためにも教室へのクーラーの設置は喫緊の課題だ。4月に開校した統合八海中学は導入済み、現在大規模改修している大巻小学校も導入予定。中学校から導入を計画しておるが5ヶ年計画とかではなく、この猛暑「命の危険」だ。来年の夏までに、クーラーの全小・中学校の教室に一斉の設置が不可欠。

そして、心配なのが、2年後に開催（開会式7月24日）される東京オリンピック。猛暑対策が選手、観客に求められる。林市長が提案・実験している「雪」が東京オリンピックを救う女神になるかも……！！

熱中症は怖いですが、注意すれば防げる！！

6月議会（6月4日～15日）

県知事選挙、県議補選の真っ只中6月議会が開会する。

議会初日に、岡村雅夫議員が全国市議会議長より在職15年で表彰を受け、その伝達式が行われる。岡村議員は大和町時代からの長きにわたる議員活動、表彰おめでとうございます。岡村氏は共産党で私とは相受け入れられない事が多々ありますが、議場外では杯を交わす場面も多いです。

市長所信表明



- ・看護師不足解消の一環で市独自の給付型奨学金の創設。
- ・こども医療費窓口全額無料化を、5歳までだったのを就学前までに拡大。
- ・八海中学校に続き、五日町、上田の2地区で小学校の統合が進む。
- ・新ごみ処理施設建設予定（国際大学用地）周辺集落の説明会で反対意見や多くの意見をいただく。8月下旬から2巡目の説明会を開催。
- ・魚沼産コシヒカリ、米の食味「特A」から「A」に落ちる。～特A復活至上命題。
- ・国の補助金（地方創生推進交付金）を活用し、インバウンド(外人)の誘致。
- ・食のまちおこし「本気井」更なるパワーアップ～大地の芸術祭や大手ツアーに
- ・大和庁舎から市民会館内（六日町）に学校教育課を移転。
- ・ふるさと納税、財政調整基金の運用から、特別基金（ふるさと応援基金）で管理。
- ・2020年を見据え、雪の利活用、雪国文化（ブランド）を発信。

★ 一般質問(6月11日) ～ 新ごみ処理施設の建設予定地について

議会後半6月14日、建設予定地（国際大学用地内）に、四集落は（穴地新田、八色原、海士ヶ島新田、柳古新田）449名の署名を添えて、ごみ焼却場建設反対についての請願書を林市長、小沢議長に提出。そして、国際大学にも提出する。

(関常幸)

「ゴミ戦争」という言葉を耳にしたことがあると思います。東京で起こった、ゴミ処理や建設に対する紛争のことであり、建設地の選定は大きな問題だ。

その地域にごみ処理施設が無ければ、快適な生活ができないばかりでなく、そこで暮らすこともできない。

さて建設地については28年4月に一般公募で3地区が名乗りを挙げるが、三地区とも適当でないという結論に至り今日に至る。

今年に入り、建設予定地は国際大学がタン山裾野と発表され、周辺集落25会場での説明会が終わり、反対意見が続出し、市長は眠れない夜もあったと聞くが、建設予定地の地元合意が得られるのか…。

主にどのような意見がでておるのか、そして、先進地視察や講演会、二巡目の集落説明会で地元合意が得られるのか市長に伺う。

(市長)

多くの意見をいただいたが、3つに集約できる。

- ①施設から排出されるダイオキシン等の有害物質への不安。
- ②交通量の増加による、交通安全・交通渋滞への不安。
- ③特産八色スイカ等への風評被害の不安。

二巡目（8月下旬）の説明会では、みなさんの不安に対し回答する。特に、ごみ施設のために、八色スイカの単価が下がったのであれば補償する。計画が一年遅れても皆さんから理解いただく。

★第2回南魚沼市中国訪問団（6月24日～28日）

新潟市に中国総領事館が開設された時から南魚沼市議会と交流があり、その発展が中国訪問となる。第1回は平成27年6月に長家界市と常德市を訪問しており、その年の秋に常德市が南魚沼市を訪れる。

団長は小澤議長（団員10人）今回の訪問地は孫 総領事の出身地丹東と大連と北京を訪れる。丹東市と大連市では、新潟総領事館の行き届いた配慮で、人民大委員会（日本の議会及び市政府）の熱烈歓迎を受ける。

中国の成長と発展は、アメリカに次ぐ大国（GDP日本546兆円、中国は日本の2.5倍、米国は中国の1.6倍）だ。訪問し改めて4千年の歴史とその活力あるエネルギーを肌で感じた。中国は共産党が全てを仕切っており民主的でないが、日本は中国と連携協力することが日本の将来になるのではと考えさせられた……！！

添乗員の話しからも、14億人の中国は今の体制でいいとは思っていないと……。



大連・丹東間を走る高速鉄道(平成27年開通)2時間の旅



丹東市表敬訪問（人民大）



無農薬水耕栽培視察
王さん当市に来ると約束



きれいな都市とマナー
の良い市民にビックリ

★ 自民党大和支部設立50周年記念大会（7月7日）



鳥取県の発展は田中角栄のおかげだ。自分が亡くなったら、田中から葬儀委員長をと言わせたほどの無二の親友だったと実父の話しに胸にジーンと来たり、ユーモアある話に時間のたつのも忘れる。本題の「東アジア情勢と日本」の講演を聴き、次の総理になってほしいと思った。

会場の「さわらび」満杯になるだろうかの心配をよそに見が出た。

泉田代議士、松原県議、林市長、小林さんによるシンポジウム「ふるさと・魚沼の未来」は、司会のFMゆきぐに山本局長の話術と各パネラーの話しに聴衆は引き込まれた。



この50年、大和中学統合、新幹線停車駅、国際大学・北里学院誘致、ゆきぐに大和病院、八色原開拓事業等々と今日ある発展の基礎を築いた先人の皆さまに改めて感謝申し上げます。この間毎年のように執行された国、県、市（町）の選挙で、自民党は常に安定多数を得た。そのことが数々の事業の推進となった。

この50年を100年に向けた新たな飛翔の年として、平和で安心安全、災害に強いまちづくりにまい進します。

★ 行政調査（7月10日～11日）社会厚生委員会

●伊達市 ～ 健幸都市づくり

18年に5町が合併し人口は6万1千人、福島県の北部に位置し伊達正宗発祥の地として史跡歴史のまち。「安心して歳がとれ、子育てができるまち」を目指し「健幸都市」心と体の健康を合言葉にまちづくりを行っている。高齢者共同生活型住宅は参考になった。



高齢者共同住宅にて

●寒河江市 ～ クリーンセンター（ごみ焼却処理施設）について

山形県のほぼ中央に位置し人口41,000人。山形県随一のサクラランボの産地。

サクラランボのど真ん中で稼働しているごみ焼却施設を見学。施設の周辺に20社の企業や工場の事務所があり、最近若い方が2件新築した。そして、北側にはサクラランボの観光農園（写真）が見える。施設が先で、後にサクラランボが植えられたが、風評被害が心配であればサクラランボは植えられなかったと思う。



ゴミ運搬車の入口で、後方にサクラランボ観光農園

活動日誌



5.20 裸押合重文指定祝賀会



5.26 FM雪国開局20周年



5.27 小さな祭りスタート
毘沙門通り毎月最後の日曜日



5.24 告示6.10投票
花角知事誕生



6.10 第9回グルメマラソン



6.12 松原良道後援会



6.15 日馬富士来庁



7.1 市防災訓練、黒沢大雨



7.7 石破代議士、葉月さんと



7.14 第66回自民党県連大会



7.15 御神輿様山門上がる

編集後記

●7月25日から「スイカまつり」がスタート。スイカを食べてこの猛暑を乗り切ろう。
●夏休みが25日から始まる。自転車はヘルメットを。ラジオ体操、今年は何も目指す。
●100回記念の甲子園大会。中越高校ガンバレ！応援しよう。